



32:16 私は、購入証書をネリヤの子バルクに渡して後、主に祈って言った。

32:17 「ああ、神、主よ。まことに、あなたは大きな力と、伸ばした御腕とをもって天と地を造られました。あなたには何一つできないことはありません。

32:18 あなたは、恵みを千代にまで施し、先祖の咎をその後の子らのふところに報いる方、偉大な力強い神、その名は万軍の主です。

32:19 おもんばかりは大きく、みわざは力があり、御目は人の子のすべての道に開いており、人それぞれの生き方にしがたい、行ないの結ぶ実にしたがって、すべてに報いをされます。

32:20 あなたは今日まで、エジプトの国で、イスラエルと、人の中で、しるしと不思議を行なわれ、ご自身の名を、今日のようにされました。

32:21 あなたはまた、御民イスラエルを、しるしと、不思議と、強い御手と、伸べた御腕と、大いなる恐れとをもって、エジプトの国から連れ出し、

32:22 あなたが彼らの先祖に与えると誓われたこの国、乳と蜜の流れる国を彼らに授けられました。

32:23 彼らは、そこに行行って、これを所有しましたが、あなたの声に聞き従わず、あなたの律法に歩まず、あなたが彼らにせよと命じた事を何一つ行なわなかったため、あなたは彼らを、このようなあらゆるわざわいに会わせなさいました。

32:24 ご覧ください。この町を攻め取ろうとして、壘が築かれました。この町は、剣とき

きんと疫病のために、攻めているカルデア人の手に渡されようとしています。あなたの告げられた事は成就しました。ご覧のとおりです。

32:25 神、主よ。あなたはこの町がカルデア人の手に渡されようとしているのに、私に、『銀を払ってあの畑を買い、証人を立てよ。』と仰せられます。」

32:26 エレミヤに次のような主のことばがあった。

32:27 「見よ。わたしは、すべての肉なる者の神、主である。わたしにとってできないことが一つでもあろうか。」

32:28 「それゆえ、主はこう仰せられる。見よ。わたしはこの町を、カルデア人の手と、バビロンの王ネブカデレザルの手に渡す。彼はこれを取ろう。

32:29 また、この町を攻めているカルデア人は、来て、この町に火をつけて焼く。また、人々が屋上でバルに香をたき、ほかの神々に注ぎのぶどう酒を注いで、わたしの怒りを引き起こしたその家々にも火をつけて焼く。

32:30 なぜなら、イスラエルの子らとユダの子らは、若いころから、わたしの目の前に悪のみを行ない、イスラエルの子らは、その手のわざをもってわたしの怒りを引き起こすのみであったからだ。・・・主の御告げ。・・・

32:31 この町は、建てられた日から今日まで、わたしの怒りと憤りを引き起こしてきたので、わたしはこれをわたしの顔の前から取り除く。

32:32 それは、イスラエルの子らとユダの子らが、すなわち彼ら自身と、その王、首長、

祭司、預言者が、またユダの人もエルサレムの住民も、わたしの怒りを引き起こすために行なった、すべての悪のゆえである。

32:33 彼らはわたしに、顔ではなくて背を向け、わたしがしきりに彼らに教えるが、聞いて懲らしめを受ける者もなく、

32:34 わたしの名がつけられている宮に忌むべき物を置いて、これを汚し、

32:35 わたしが命じもせず、心に思い浮かべもしなかったことだが、彼らはモレクのために自分の息子、娘をささげて、この忌みきらうべきことを行なうために、ベン・ヒノムの谷にバルの高き所を築き、ユダを迷わせた。」

「あなたはこの町がカルデア人の手に渡されようとしているのに、私に、『銀を払ってあの畑を買い、証人を立てよ。』と仰せられます。」とは、エレミヤの主張です。買戻してはくれないではないかというのです。

そこで神様は、「イスラエルの子らとユダの子らは、若いころから、わたしの目の前に悪のみを行ない、イスラエルの子らは、その手のわざをもってわたしの怒りを引き起こすのみであったからだ。」と答えられました。

主に間違いはありません。主の御心を受け入れつつ、主からの解決をいただきましょう。

- ①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）
- ②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）
- ③生き方にどう適用しますか？（あなたどの部分を主は扱おうとしておられますか）
- ④この世にあって何を実践しますか？